

## 【入選】

### 地域とのつながりを感じて

熊本県立玉名高等学校附属中学校 3年 塚本 菜月

私は今年の春に、私の住む区で開催される祭りの運営の手伝いをした。春の桜が満開になった頃に開催されるので、区やその周りの人が多く集まる。ボランティアの人で運営するので小規模だが、初めて参加する私は緊張していた。ボランティアの人は大人がほとんどで、きちんと手伝いができるか心配だった。

そんな緊張や心配のなか、一人の男性が話しかけてくれた。彼は、私が小学校の時に交通指導をしてくださっていた方だった。雨の日も毎日、私たちの安全のために尽くしてくださった。そこで、中学生になった私は、かつての地域の人とのつながりを忘れてしまっていることに気が付いた。それからもう一度周りを見渡せば、何人もお世話になった方々がいた。小学校のときにはほんの読み聞かせをしてくださった方など、小学校当時の私の日常の一部にもなっていた方々だった。そのことに気が付くと、一気に心が軽くなった。やはり、人と人とのつながりは大切なのだと思った。祭りが終わった頃には、すっかりお互いに打ち解けて、楽しく会話ができるようになっていた。

私が中学生になってからは、自分の地域の人との関わりがほとんどなくなってしまった。地元の中学生とも会わないので、同級生とのつながりも少なくなった。小学校の時までは、地域の人に支えられ生活ができていたので改めて気が付いた。それと同時に、つながりが減っていくのは悲しいと思った。

祭りの最後、片付けも全て終わり、帰る時にたくさんの人が、「また来てね。」と声をかけてくださった。地域の人との関わりは、こんなにもあたたかなものだと実感することができた。

今回の経験を通して、地域とのつながりの大切さを改めて感じると共に、今の自分には地域とのつながりが足りていないと感じた。何かあった時に助け合うのは地域の方々だし、見守ってくださるのも地域の方々だ。たくさんのおつながりがあるべきだと思う。これからはそのつながりをもっと大切にしていきたいと思う。そして、そのつながりが助け合いの第一歩となるようにしたい。